

持続可能な化学品(1/2)

“sustainable chemicals”



UBAのロゴ

- ドイツ連邦環境庁(UBA)が提案(2009/3/10) :
 - ◆ 化学企業は、化学品を販売するのではなく、化学品をリースし、その機能あるいはサービスを提供する。
 - ◆ その利用後は、化学企業が化学品を引き取り、再度の利用のために準備処理するか、または環境に調和して処分する。
 - ◆ 化学企業は、リースした化学品の量によってではなく、利用してもらった化学品の量とノウハウによって儲ける。
 - ◆ メリット : ①利用企業は化学品の利用だけに専心できる。②利用企業はCSRについてより高い評価を受ける。③環境のよりよい保全と資源の節約。
- UBAによる提案の趣旨説明
 - ◆ 英文説明文(全2頁) : Chemical leasing unburdens environment ⇒
 - ◆ Hp (独語のみ) : <http://www.chemikalienleasing.de/>

持続可能な化学品(2/2)

“sustainable chemicals”



国際連合工業開発機関

- ドイツとオーストリアの政府がUNIDOの賛同を得て、EU委員会に働きかけ
- Chemical Leasing Goes Global – Selling Services Instead of Barrels: A Win-Win Business Model for Environment and Industry, Eds T Jakl and P Schwager, (Wien : Springer-Verlag, 2008) ⇒ [web](#) → “**Chemical Leasing and REACH**” などの章を参照。↑このwebで目次と見本頁を見られる。
- 英語hp : <http://www.chemicalleasing.com/>
- このhpのWorking Groupには会員リストがあり、Dow, Akzo Nobel, Degussa, BASFなどの有力化学企業や官庁が名を連ねる。